

## 校長メッセージ

令和2年6月1日

皆さん、おはようございます。

今日から、中高の全校生徒が同時に学校に来ることができるようになったのは、本当に良かったです。皆さんも待ちに待っていたと思います。私も素直に喜びたいです。このように学校が再開できたのも、皆さん一人一人が不要不急の外出を自粛するなど、今まで、臨時休業中も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための対策をとってくれたおかげだと思います。皆さん、したいことを我慢したこともあったのではと推測します。皆さんの努力に感謝したいと思います。

本校では、昨年度末から続いていた臨時休業が4月6日に終わり、翌7日には始業式を放送で、新任式を学年集会の形で行い、8日には中高それぞれ入学式を新入生だけで行いました。やっと学校が再開できたという喜びもつかの間、また、4月20日から臨時休業が始まり、再開の予定であった5月7日から、更に5月末日まで、臨時休業が延長されました。その間、先の見えないことに対する不安を感じた人も、少なからずいたのではと思います。決して十分とは言えませんが、登校日を適切に設け、皆さんの学習や生活などを支援してきたつもりです。5月の最終週は、中学校は週2日、高校は週3日と、登校日を拡充し、今日からの学校再開に備えました。

一般的には、新型コロナウイルス感染症の学校における集団発生の報告は、国内においてもまれであります。また、年齢の低い児童生徒の発生割合や重症割合は、どちらもともに小さいと言われています。海外では、ロックダウンによる休校が報告されている一方で、国内では、今まで断続的な臨時休業が続いており、学校での感染拡大についての科学的な証拠が蓄積されていない状況です。

現時点でも、新型コロナウイルス感染症については、不明な点が多く、有効性が確認されたワクチンは存在しません。国内外の状況を見ると、私たちは、これからも長い期間、この新たな感染症とともに社会で生きていかなければなりません。岡山県での感染者数は増加していませんし、全国的に見ても感染は収束しつつあるかのように思えます。緊急事態宣言も段階的に解除され、1つのステージは超えたようにも思えます。しかしながら、安心はできません。気を緩めてはいけません。寒くなり風邪がはやりだす、今年秋・冬には、新型コロナウイルス感染症の第2波・第3波が襲ってくるとの専門家のご意見もありますし、国内でも、すでに第2波が疑われる地域もあります。

このため、「3つの密」を徹底的に避けるため、「マスクの着用」及び「手洗い等の手指衛生」など基本的な感染症対策である「新しい生活様式」を継続し、感染及びその拡大のリスクを可能な限り減らしていくことが何よりも大切です。皆さんには、これまで通り、学校でも、家庭でも協力をしてもらいたいと思います。また、今後、万が一、更なる臨時休業を余儀なくされる事態が起こったとしても、その困難な状況に対応するために、先日導入したG Suiteを活用したいと思います。また、学校再開後についても、G Suiteは健康観察等に利用します。

この後、担任の先生方が、学校生活を送る上での具体的なルールを説明されますので、よく聞いて、十分理解してください。そして、学校全体で、新型コロナウイルス感染症に対応していきましょう。皆さんの協力が、是非必要です。

私からのメッセージは以上です。それでは、担任の先生方、よろしく申し上げます。